

電気通信大学 平成21年度シラバス

授業科目名	近代小説の人間学		
英文授業科目名	The Human Relations of Modern Novels		
開講年度	2009年度	開講年次	3年次
開講学期	後学期	開講コース・課程	昼間コース
授業の方法	講義	単位数	2
科目区分	総合文化科目-上級科目-テーマ別セミナー		
開講学科・専攻	情報通信工学科 情報工学科 電子工学科 量子・物質工学科 知能機械工学科 システム工学科 人間コミュニケーション学科		
担当教官名	島内 景二		
居室	東1-815		

公開E-Mail	授業関連Webページ
shimauch@bunka.uec.ac.jp	

【主題および達成目標】
<p>近代小説を読みながら、特に「人間関係」に注目して分析する。 人間の幸福は、人間関係の中にはかないし、またそこにこそ人間の不幸も発生する。 わたしたちが「自分をめぐる現実」を一つの物語として把握するとき、近代小説が追求し続けてきた「人間」への関心は、大きなヒントになることだろう。 「考えながら読む姿勢」が獲得できたか、小説の世界を自分の現実に引きつけて咀嚼できる想像力が涵養できたか。それが、この講義の最終目標である。</p>

【前もって履修しておくべき科目】
<p>特に、なし。 ただし、履修希望者が多い場合には、文学Aと文学Bの履修済み学生を優先する。</p>

【前もって履修しておくことが望ましい科目】
<p>特に、なし。 ただし、文学Aと文学Bを履修しておけば、より深く学べるだろう。</p>

【教科書等】
<p>教科書は、使わない。毎時間、プリントを配布する。</p>

電気通信大学 平成21年度シラバス

【授業内容とその進め方】

最初の数回は、講義者が小説の分析を手本として示す。
残りのほとんどの回は、発表者に担当部分の分析結果や自分の感想を述べてもらう。
取り上げる作品は、履修者の希望をなるべく汲み上げたい。例年、6~8の短編を読んでいる。

【授業時間外の学習（予習・復習等）】

とにかく小説を読むこと。読んで楽しい本。読むのは苦しいけれども、必ず役に立つ本。本には、いろいろある。「本さまざま」である。

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

出席重視。また、一人必ず一回は担当する発表内容も、大切である。
学期末には、長めのレポートを書いてもらう。
この三つを総合的に勘案して、最終成績を出す。

【オフィスアワー：授業相談】

特に設けない。質問等は電子メールで受け付ける。

【学生へのメッセージ】

大学に入ってから、あまり小説を読んだことのない学生も、ここで大いに（あるいは初めて）小説を本気で分析的に読んでみませんか。きっと、何か身近に考えられるテーマが見つかりますよ。
大学の「自分探し」の総決算として、このセミナーに参加して、レポートを書くことを勧めます。

【その他】

ミヒヤエル・エンデの「はてしない物語」のように、本の側から読者に「読んで欲しい」と呼びかけることがある。そういう運命の出会いを、してみようではないか。